

## 令和5年度繰越明許費繰越計算書について(土木交通部)

### 1. 款項別

款・項	令和4年度		令和5年度		増減	
	事業数	金額 (百万円)	事業数	金額 (百万円)	事業数	金額 (百万円)
土木交通費	37	36,320	39	35,237	2	▲ 1,083
土木交通管理費	3	45	2	48	▲ 1	+ 3
道路橋りょう費	8	21,056	8	21,035	-	▲ 21
河川費	9	7,742	9	8,192	-	+ 450
港湾費	-	-	-	-	-	-
砂防費	9	3,344	11	3,603	2	+ 259
都市計画費	2	2,910	3	1,250	1	▲ 1,660
公園費	2	899	2	881	-	▲ 18
建築費	2	142	2	183	-	+ 41
住宅費	2	182	2	45	-	▲ 137
災害復旧費	2	758	2	237	-	▲ 521
土木交通施設 災害復旧費	2	758	2	237	-	▲ 521
合 計	39	37,078	41	35,474	2	▲ 1,604

### 2. 繰越額の内訳

単位:百万円

		令和4年度	令和5年度	増減
翌年度への繰越額	A+B	37,078	35,474	▲ 1,604
公共事業	A:a+b	35,748	34,614	▲ 1,134
国補正予算	a	14,426	14,133	▲ 293
国補正予算以外	b	21,322	20,481	▲ 841
公共事業以外	B	1,330	860	▲ 470

### 3. 令和6年度の公共事業費の執行について

引き続き、業務量に応じた体制を整えるとともに、職員の負担軽減や事業執行の平準化の取組をさらに進める。

- (1) 人員体制の充実
  - ・ 土木技術職員の確保
- (2) 職員の負担軽減
  - ・ 設計、積算および監督業務のアウトソーシングの更なる活用
- (3) 事業執行の平準化
  - ・ 債務負担行為の活用による発注時期の分散化